



since 1960

三条金物卸商協同組合

— 三条金物倶楽部 —

ニュース速報

共に考え 共に学び 自ら切り拓こう 私たちの三条金物卸商

「平成29年度臨時総会」



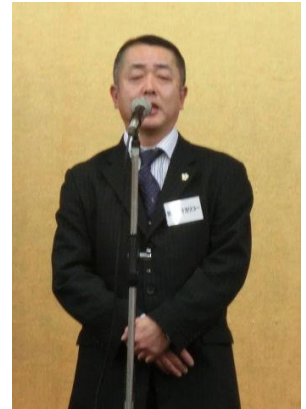
去る12月15日（金）、午後6時30分より魚長にて平成29年度臨時総会が開催されました。

総会は、組合員168社のうち、156社（委任状を含む）の参加を得て柄澤副理事長の司会進行で執り行われました。

長岡理事長の開会挨拶で次のように述べました。

「いよいよ私の任期も4ヶ月を切りました。1期目同様2期目も組合員の皆様の多大なるご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。また執行部の皆様にも私のわがまを聞いていただき活発に活動していただいたおかげで、事業をスムーズに終わることが出来そうです。しかしながら2期目の一番目玉である組合強靱化委員会を中心とした事業「made in sanjo」にこだわった製品づくりには今少し時間が必要な気がいたしますが、あと3ヶ月で何とかカタチにしていきたいと思っております。未来創造委員会では前期の庖丁メーカーに引き続き、地元の作り手とコミュニケーションをとり三条を発信していくために鉄メーカー数社を回りました。高速道路共同支払事業も順調に推移し、今期も黒字に

なりそうです。そして非常に残念ですが、この三条金物卸商共同組合を影で支えていただいた事務局の梅田さんが来年3月に退職されます。後任は未だ決まっていませんがしっかりと引き継いでもらいたいと思います。最後に本日は次期理事長を決める大事な議案があります。慎重審議をよろしくお願ひしたいと思います。」



引き続き、議長に金子総務委員長を選任し議案審議に移りました。

第1号議案 次期理事長選任では選考委員会より(株)中條金物 中條克俊氏が推薦され承認されました。理事長就任の挨拶で中條氏は「歴史ある金物組合の理事長に選出いただき誠にありがとうございました。身が引き締まる思いでございます。諸先輩方と比べますとまだまだ足りない部分が多々ありますが、これまで組合の歴史を作ってきた諸先輩方、同じ時代を共に生きている同年代の皆さん、これからの組合と三条を担う若手の皆さんとともに一緒に苦勞していけるのであれば、まだまだ未熟ではありますが一所懸命頑張りしたいと思います。」と述べました。



第2号議案 パートタイム就業規則について、梅田さん退職に伴い新たにパートタイマーを雇用するにあたり、今までなかった就業規則を定めるものです。この件も拍手をもって承認されました。その他に執行部、組合員いずれからも議案は出されず議案審議は終了しました。

その後、平成29年度上半期の事業報告及び決算報告が行われ、最後に馬場副理事長の閉会の辞で総会は無事終了しました。

総会終了後会場を移し、國定三条市長はじめ来賓の方々を迎え馬場副理事長の司会進行で懇親会が開かれました。

長岡理事長は開演の挨拶で2期8年の活動、作り手と使い手との繋ぎ手として製品の本質を理解した上で正しく安全に使ってもらう知識を身につけること、さらに作り手と情報交換・知恵を出し合いながら製品開発を行えることを目標にやってきたことを語られました。

中條次期理事長は「長岡理事長からの『繋げてほしい』という熱い言葉に、組合員の皆様方とだったら、私でも地域のため、組合のために仕事ができるのではと覚悟を決めて受けさせていただきました。金物組合として三条市、燕三条地域で求められる役割を果たしながら皆様に喜んでいただけるようなカタチを作っていきたい」と挨拶されました。

その後、三条商工会議所副会頭 岡田久徳様からご祝辞を頂戴し、協同組合三条工業理事長 齋藤一成様の乾杯のご発声で祝宴が始まりました。公務で遅れ駆けつけていただいた三条市長 國定勇人様からご祝辞をいただきました。乾杯の前にはサプライズで25年間組合の事務をされてきてこのたび退職される梅田さんに花束贈呈がありました。宴会の中締めのご挨拶は三条木工組合副会長 倉重大輔様より頂戴しました。最後に柄澤副理事長の閉宴の挨拶で臨時総会懇親会は終了しました。(大橋)